



## 今後やるべきこと

2回すっぱかしてくれた●●くんともやっと面談することができて、とりあえず、君たち全員の進路志望を聞くことができた（ちなみに、今「志望」が「死亡」と変換された…縁起でもないなあ…）。結果を統計的にまとめてみると、

### 1 文理選択

文系 18名  
理系 23名

\*ただし、面談時に迷っている者が2名いたので、その二人が最終的に判断を変更している可能性はある。

### 2 第一志望

東大 15名  
東工大 4名  
一橋大 3名  
医学部 8名  
千葉大・農工大・東京学芸・東京外語  
京都 1名  
私立のみ 2名  
未定 4名

\*ただし、例えば「東大・一橋で迷っている」とか、「医学部と理学部で迷っている」といった人も複数いて、その場合は、とりあえず、私のメモ書きしたノートの最初に書いてる大学でカウントしたので、これはかなり変動する数字であるが、おおよその傾向は分かるだろう。

### 3 自由選択

10単位選択する人 39名  
0単位選択する人 2名

\*ほぼ全員が自由選択を全単位分選択しているが、理系の諸君で、「数学Ⅱγ」と「古典」を選択するかどうか迷っている人が3

名いる。前の通信にも書いたが、4月に取り下げ期間があることを考えると、自分で勉強できると確信できる場合以外は、基本的に選択しておくことを勧める。自由選択を取らない人は、私立のみを志望することに決めた2名である。

\*

……ということで、ほぼ進路の方向が見えつつあるといった感じだろうか。

あとは、とりあえずの第一志望はイイとして、その「次」をなるべく具体化しておくことを勧める。例えば、「国公立しか受けられない人」は、センターの結果次第では別の大学（地方の国公立大学）に出願する可能性もあるわけだから、同じ学問分野が学べる第二の候補を意識しておくことが必要である。また、「浪人することが許されない人」は、第一志望とは別に、いわゆる「滑り止め」から「実力相応校」「目標校」と、併願校を幅広く受けざるを得なくなるだろう。その場合、私立大も視野に入れながら、今述べたランクを意識して、自分の学びたい学部がある大学を探すことになる。最終的には出願時に決めることになるわけだが、その時（つまり、来年の今ごろ）になって、一から大学・学部を探しているようでは、落ちついて勉強ができなくなってしまふ。だから、今のうちにある程度は志望校を決める母集団を絞っておいて、成績の伸びと相談しながら、最終的な出願先を選べるように準備しておきたい。そういう作業を、科目選択と併行しながら、できれば年内のうちに、遅くとも2年生のうちに終わらせておきたいものだ。